

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 文財-04 文化財保存・修理助成事業 <input type="checkbox"/> 支援部門										
主管課	文化財課	関連課	歴史まちづくり推進担当								
分野名	歴史環境・文化										
目標 (目標値)	指定有形文化財等の適正な保存管理とその活用を図る。										
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考						
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯							
	事業の対象者数										
事業の対 象者数											
運営資源状況	決算値(千円)	37,323	27,931	12,273							
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	37,323	27,931	12,273							
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人							
	人件費(千円)	7,912	8,175	8,762							
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	45,235	36,106	21,035							
	市民1人当りの経費(円)	254	204	119							
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市					
	国・県指定文化財件数	160	15	279	31	13					
	市指定文化財件数	147	82	305	107	24					
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)				
保存修理件数	○	目標値	7	7	7	7	7				
		実績値	6	5	8	10					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退											

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止							
文化財保存・修理助成事業	37,323	文化財保存・修理助成事業	27,378	今後の方向性	A	理由・手法	指定文化財の適正な保存管理とその活用を図り、後世に伝えるため、必要な費用に対し補助を行う。				
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	指定文化財の修理等の要望の増加に対応しきれない												
課題解決のための取組	指定文化財の状況を把握しながら、国・県・所有者と協議し、計画的に修理を実施した								取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	指定文化財の市指定に対する保存修理については、十分な対応ができていない												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	市指定文化財の保存修理については、所有者と協議し、緊急性を配慮しながら計画的に実施する								➡	A			
※□事業完了													

評価者名

文化財課担当課長

吉田 宗一

